

令和4年度 桃の木幼稚園 学校関係者評価資料

学校関係者評価委員メンバー

神戸市立桃山台中学校 校 長 水口 尚之 様

神戸市立下畑台小学校 校 長 安東 直人 様

神戸市立つつじヶ丘小学校 校 長 宮田 孝一 様

神戸市立桃山台児童館 館 長 牟田 耕起 様

桃の木幼稚園愛児会 学年代表 西本 佳菜子 様

桃山台自治会 会 長 西田 智賀子 様

卒園生保護者 阿波 由紀恵 様

① 園児数・クラス数・教職員数について

	園児数	学級数	教職員数		園児数	学級数	教職員数
1999年度	235	9	16	2011年度	196	9	18
2000	202	9	16	2012	188	8	18
2001	191	8	14	2013	210	10	20
2002	203	8	15	2014	219	10	25
2003	206	8	12	2015	236	10	29
2004	217	8	13	2016	230	14	54
2005	232	9	16	2017	318	14	54
2006	255	10	16	2018	305	13	51
2007	241	10	17	2019	281	13	50
2008	218	10	16	2020	274	13	51
2009	208	9	16	2021	262	13	48
2010	188	9	17	2022	247	13	49

② 施設について

敷地面積	3044.13㎡
延べ床面積	2264.61㎡
保育室・遊戯室	985.39㎡
園庭	1327.92㎡

③ 保育料などについて（2021年度）

<入園児の納入金>

入園準備費 5,000円

施設整備準備費 30,000円

<毎月の納入金>

利用者負担額…神戸市が1.2.3号によって定める額(別紙参照)(3.4.5歳児は無償化)

2歳児ひよこ組は1号認定の前月まで 26,000円

愛児会費…600円

教育活動費…5,000円(3.4.5歳児のみ)

給食費 …1号認定児 主食費1,800円 副食費3,200円

※副食費が免除される場合があります。

2号認定児 主食費2,000円 副食費4,500円 ※副食費が免除される場合があります。

④ 保育日数・時間（2021年度）

<日数> 約297日

<時間>

早バス利用者 8:01～13:11

遅バス利用者 9:33～15:00

徒歩 9:00～14:10

※午前保育日は、2時間30分

バス利用者 114名

徒歩通園者 133名(3号含む)

⑤ 預かり保育

- A) 通常延長保育 保育終了後～17:00
 B) 特別預かり保育 7:00～保育開始時刻、17:00～19:00
 C) 土曜保育 7:00～19:00
 D) 長期休業時預かり 7:00～19:00

<料金> A)～D)…全て30分200円(保護者の申請により一部補助あり)

※2021,4～2021,11

預かり日数 170 日間 預かり人数 延べ 4,537 名 1日平均 27 名

⑥ 子育て支援

なかよしクラブ

対象 2～3歳 週1回 1時間保育(お弁当日は2時間半保育)

※22名 2クラス(2021年度)

ももBaby

対象 0～1歳 月1回 1時間

※48組 2クラス(2021年度)

⑦ 給食

ご飯給食:週4回 パン給食:週1回 お弁当:月1回～3回

※自園調理

※アレルギー食 対応実施

⑧ 保護者会

各クラス 役員3～4名

総会・運営委員会(年10回程度)※コロナウイルス感染拡大により年6回開催。

親子学級・もものきまつり等による取り組み ※コロナウイルス感染拡大により中止。

おかいものまつり(おかいものごっこ)への取り組み。

⑨ 安全対策

出入り口:安全施錠(保護者及び幼稚園利用者に暗証番号を通知)

:監視カメラ(13台)にて監視

:保護者カードの配布

⑩ 園児募集

次年度願書配布 9月上旬

入園説明会・見学会 9月中旬以降

願書提出(1号こども) 10月1日(例年)(2号・3号認定こども) 10月21日～(例年)

2023年度 募集数及び応募数(2023.3月現在)

学年	2・3号認定の 利用定員	実数
0歳児	6名	6名
1歳児	15名	12名
2歳児	23名	16名

学年	募集数	応募数
2歳児	12名	13名
3歳児	27名	25名
4歳児	0名	0名
5歳児	0名	0名

令和4年度 自己評価集計表

No.	きつず平均	べびー平均	面棟平均	
Ⅰ 保育の計画性	1-1	3.80	3.80	3.80
	1-2	3.40	3.50	3.44
	2-1	3.07	3.00	3.04
	3-1	3.60	3.70	3.64
	3-2	3.73	4.00	3.84
	4-1	3.53	3.40	3.48
	4-2	3.27	3.50	3.36
	5-1	4.00	4.60	4.24
	5-2	3.80	4.20	3.96
	5-3	3.40	3.80	3.56
	5-4	3.93	4.30	4.08
	5-5	3.93	4.30	4.08
	5-6	3.53	3.80	3.64
	5-7	3.67	3.70	3.68
	5-8	3.20	3.70	3.40
	5-9	3.60	3.80	3.68
	5-10	3.73	4.10	3.88
	5-11	3.20	4.00	3.52
	6-1	3.40	3.50	3.44
	6-2	3.80	3.80	3.80
Ⅱ 保育の在り方、幼児への対応	1-1	4.47	4.60	4.52
	1-2	4.73	4.70	4.72
	1-3	4.07	4.00	4.04
	1-4	4.07	4.40	4.20
	2-1	4.00	4.10	4.04
	2-2	4.00	4.30	4.12
	2-3	3.73	4.20	3.92
	2-4	3.80	4.00	3.88
	2-5	3.93	4.10	4.00
	2-6	4.07	4.00	4.04
	2-7	3.67	3.70	3.68
	3-1	3.87	4.30	4.04
	3-2	3.80	4.00	3.88
	3-3	4.67	4.50	4.60
	3-4	4.00	4.00	4.00
	3-5	4.47	4.30	4.40
	3-6	4.53	4.50	4.52
	3-7	3.87	4.30	4.04
	3-8	4.00	4.10	4.04
	3-9	4.00	4.10	4.04
	3-10	4.13	4.40	4.24
	3-11	4.93	4.90	4.92
	4-1	4.40	4.50	4.44
	4-2	3.47	3.70	3.56
4-3	4.20	4.10	4.16	
4-4	3.20	3.60	3.36	

No.	きつず平均	べびー平均	両棟平均	
Ⅲ 保育者としての資質と能力	1-1	4.00	4.20	4.08
	1-2	4.07	4.00	4.04
	1-3	4.13	4.10	4.12
	1-4	4.53	4.40	4.48
	1-5	4.60	4.60	4.60
	1-6	4.40	4.40	4.40
	1-7	4.73	4.70	4.72
	1-8	4.40	4.70	4.52
	1-9	3.80	4.20	3.96
	2-1	4.20	4.20	4.20
	2-2	3.80	4.00	3.88
	2-3	4.33	4.50	4.40
	2-4	3.80	4.20	3.96
	2-5	4.67	4.70	4.68
	3-1	4.67	4.60	4.64
	3-2	4.53	4.30	4.44
Ⅳ 保護者への対応	1-1	4.00	4.20	4.08
	1-2	4.13	4.50	4.28
	2-1	4.80	4.90	4.84
	2-2	4.80	4.90	4.84
	3-1	4.00	4.00	4.00
	3-2	4.07	3.80	3.96
	3-3	4.13	4.10	4.12
	4-1	4.53	4.70	4.60
	4-2	4.20	4.40	4.28
Ⅴ 地域の自然や社会との関わり	1-1	4.20	3.90	4.08
	1-2	2.87	3.20	3.00
	1-3	2.07	2.60	2.28
	2-1	2.73	2.60	2.68
	2-2	2.60	2.80	2.68
	3-1	2.73	2.70	2.72
	3-2	2.53	2.50	2.52
Ⅵ 研修と研究	1-1	3.53	3.30	3.44
	1-2	3.73	3.50	3.64
	1-3	3.80	3.40	3.64
	2-1	3.20	3.30	3.24
	2-2	2.93	3.00	2.96
	2-3	2.80	2.90	2.84
	2-4	2.67	3.10	2.84
	2-5	3.00	2.90	2.96
	2-6	3.20	2.90	3.08
	2-7	2.47	2.60	2.52
	2-8	3.20	2.80	3.04
	3-1	3.60	3.90	3.72
	3-2	3.60	3.10	3.40
	3-3	2.93	3.00	2.96
	3-4	2.67	2.80	2.72
	3-5	2.87	2.90	2.88
合計			358.92	
個人平均			3.82	

クラス() 氏名()

5:達成している 4:ほぼ達成している 3:どちらともいえない 2:あまり達成できていない 1:達成できていない

評価分類		内 容	評 価
Ⅰ 保育の 計画性	1 園の教育理念・教育目標の理解	○園の教育理念や教育目標を理解する ○園の教育理念に基づいて教育目標について園長や保育者と話し合う	
	2 幼稚園教育要領の理解	○幼稚園教育要領を読み、園長や保育者と話し合って理解に努める	
	3 教育課程の編成	○園の教育課程は、幼稚園教育要領の精神を踏まえ、園の教育理念・教育目標を基に編成する ○園の教育課程を理解し、それに基づいて保育の計画を立てる	
	4 指導計画の作成	○指導計画は幼児の発達に即して幼児期にふさわしい生活を展開できるように具体的に作成する ○指導計画は幼児の実態や周囲の状況の変化に対応できるような順応性のあるものにする	
	5 環境の構成	○安全で清潔感のある環境を構成する ○幼児が主体的にかかわりたくなるような素材や遊具を考えて環境を構成する ○幼児が自ら活動を展開していけるような場や空間の構成をする ○遊びに必要な遊具や用具、素材などを質・数量に配慮して用意する ○楽しい雰囲気の中で安心して遊びこめる環境を構成する ○幼児の活動がより豊かになるように、活動の展開に応じて環境を再構成する ○幼児の発想を柔軟に取り入れて、保育室の装飾や展示をする ○園地・園庭の樹木や草花の名前、季節による変化などを理解し、環境構成にいかす ○幼児の発達や生活を見通した環境の構成をする ○季節の変化に応じた環境の構成をする ○異年齢の幼児が自然に交流できるような環境の構成をする	
	6 評価・反省	○自分の保育についての評価・反省をいくつかの観点から行う ○自分の保育を評価・反省することで、次の保育にいかす	
Ⅱ 保育の在り方、 幼児への対応	1 健康と安全への配慮	○朝の登園時には特に視診を大切に、子どもの体調が悪くないかを確かめる ○けがや事故に気をつけ、万一、事故やけがが発生した場合は、園長に報告し、保護者に連絡をとり、医師に見てもらするなど適切な処置を行う ○園内に危険な箇所がないか、危険な遊び方はしていないか常に配慮し、危険が予測される場合は安全な遊び方について幼児と一緒に考える ○園内の清掃や整理整頓、換気、採光、室温などに気を配る	
	2 幼児理解	○一人ひとりの幼児をよく観察すると同時に周囲にも目を配る ○幼児の話をよく聞き、幼児の思いを受けとめる ○個々の幼児の発達の姿や課題について、見通しをもって理解する ○幼児同士のかかわりの姿を捉え、そこでの幼児の育ちを理解する ○幼児たちが今、興味や関心をもっていることを知る ○幼児の理解のために家庭との連携をとる ○幼児の姿を多面的に捉えるように心がける	
	3 指導とかかわり	○幼児の思いや考えに共感しながら、幼児と一緒に活動する ○幼児が理解しやすいような、正しい言葉を使う ○幼児の心を傷つけたり、人権を無視したりする言葉や態度、かかわり方をしない ○善悪の判断、思いやりなどの道徳性を培ううえでのモデルとなるように心がける ○幼児の一人ひとりのありのままの姿を受け入れ、その子のよさを認めるように心がける ○幼児の話をよく聞いたり、スキンシップをとるようにする ○幼児が遊びを深めていくための、適切な援助をするように心がける ○幼児の年齢に応じた援助の仕方を工夫する ○幼児が自ら考えたり工夫したりできるように見守り、行き詰まっているときには適切な援助をする ○幼児同士のトラブルに対し、適切な対応をするように心がける ○幼児を無視したり、体調を加えることはどのような場合もしない	
	4 保育者同士の協力・連携	○クラスに関係なく、その場にいた保育者が適切な言葉がけや対応をするように心がける ○クラス的环境構成などについてもお互いにフランクに意見を交換し合う	

			○幼児のことについて保育者同士で話し合い、共通理解をするように心がける	
			○他のクラスや異年齢の幼児たちと触れ合うような、さまざまな工夫をする	
Ⅲ 保育者としての 資質と能力	1 専門家としての能力・姿勢・義務		○幼児の性格や個性を把握し、幼児の考えや感じていることを理解する	
			○保護者に対し、幼児や自分の保育のことをわかりやすく話し、保護者との信頼関係を築くよう努める	
			○保育時間外でも保育者としての誇りと自覚をもった言動を心がける	
			○幼稚園には自分自身のプライベートな生活をもち込まないようにする	
			○幼児や保護者との対応には、公平さを欠かさないようにする	
			○服装、髪形、身だしなみなど、清潔感のあるものを心がける	
			○職務上、知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守る	
			○園の重要書類は持ち出さない	
			○締切りのある仕事や提出物は締切日をきちんと守る	
		2 組織の一員としての在り方		○教職員全員で一つのチームであることを自覚する
	○他の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べるよう努める			
	○子どものこと、クラスの出来事などで必要なことは園長や主任に報告、連絡、相談をする			
	○当番や役割による仕事は確実に行う			
	○園や保育者に関することについては、軽はずみに他に話さない			
3 保育の楽しみ・喜び		○幼児の成長を自分の喜びと感じる		
		○幼児と一緒に生活を創りだすことを楽しいと感じる		
Ⅳ 保護者への対応	1 情報の発信と受信		○保護者に個々の幼児の様子を伝える工夫をする	
			○保護者からの相談や要望には心を開いて、よく話を聞くように心がける	
	2 守秘義務の遵守		○保護者の住所、電話番号など個人情報の管理については園の方針に従う	
			○個々の幼児や保護者、家族の情報は口外しない	
	3 対応上のマナー・心がまえ		○日常生活において、その場にあった正しい言葉を使うようにする	
			○電話は、相手が見えないために誤解が生じやすいことを心に留め、簡潔にわかりやすく話すことを心がける	
	4 クレームへの対処の仕方		○保護者からの依頼や伝言などについては、メモをするなどきちんと対応する	
			○保護者からクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、園長に報告、連絡、相談をする	
Ⅴ 地域の自然や 社会とのかかわり	1 地域の自然・人々とののかわり		○クレームの内容によっては教職員全体で検討し、共通理解のうえで対処する	
			○地域の人々と親しくあいさつや会話を交わすように心がける	
			○地域の自然や主な施設の場所、交通機関、行事などについて理解するよう努める	
	2 小学校との連携		○地域の自然や機関についてマップを作成するなど、利用しやすい工夫をする	
			○小学校の教育内容について理解するよう努める	
			○地域の小学校の行事や公開授業に関心をもつ	
3 子育ての支援と地域への開放		○子育ての支援や地域開放について具体的な形や内容を理解する		
		○子育ての支援や地域開放について、教職員全体で話し合う		
Ⅵ 研修と研究	1 研修・研究への意欲・態度		○研修会や研究会には自己課題をもって進んで参加する	
			○自分の保育について自己課題をもって評価・反省を行う	
			○自分の保育の在り方や悩みについて、他の保育者や主任、園長に相談する	
	2 保育者としての専門性に関する研修・研究		○幼児の発達理論を学び、保育にいかすための研修・研究を行う	
			○記録の取り方、考察の仕方に関する研修・研究を行う	
			○教育課程や指導計画の理解と作成に関する研修・研究を行う	
			○保育記録に基づいた評価方法と計画に関する研修・研究を行う	
			○幼児の発達を見通した環境構成や教材に関する研修・研究を行う	
			○保護者への対応に関する研修・研究を行う	
			○地域社会との交流に関する研修・研究を行う	
			○保育者同士の協力・連携に関する研修・研究を行う	
	3 今日課題に関する研修・研究		○アレルギー、自立の遅れなど、最近多く見られる問題について理解する	
			○障がいのある幼児の理解と対応について研修する	
			○預かり保育や子育ての支援について研修する	
			○幼小連携の必要性や具体的方策について研修する	
		○危機管理の必要性和対応について研修する		